



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月8日

上場会社名 トレンドマイクロ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4704 URL http://www.trendmicro.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) エバ・チェン
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) マヘンドラ・ネギ (TEL) 03-5334-3600
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	117,976	9.5	27,226	△2.5	27,739	△1.4	21,010	2.4
29年12月期第3四半期	107,782	13.5	27,929	9.4	28,145	15.5	20,515	17.5

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 19,616百万円(△10.1%) 29年12月期第3四半期 21,818百万円(347.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	152.02	150.53
29年12月期第3四半期	149.39	148.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	336,650	182,569	54.0
29年12月期	331,157	177,077	53.0

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 181,813百万円 29年12月期 175,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	149.00	149.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年12月期の期末配当については未定です。

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,800	10.7	40,700	11.7	40,800	10.2	28,400	10.5	206.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年12月期3Q	140,293,004株	29年12月期	140,293,004株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

30年12月期3Q	842,974株	29年12月期	2,657,574株
-----------	----------	---------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年12月期3Q	138,213,905株	29年12月期3Q	137,328,083株
-----------	--------------	-----------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高		
	平成30年12月期 第3四半期 (累計)	平成29年12月期 第3四半期 (累計)	増減率
日本	46,605	43,459	7.2%
北米地域	30,930	30,065	2.9%
欧州地域	20,764	17,330	19.8%
アジア・パシフィック地域	16,561	13,738	20.5%
中南米地域	3,114	3,188	-2.3%
合計	117,976	107,782	9.5%

当第3四半期連結累計期間(平成30年1月1日～平成30年9月30日)における世界経済は概ね堅調に推移しているものの、米中を中心とした貿易摩擦、金利政策の影響、並びにそれらによる新興諸国経済の減速懸念をはじめ様々なリスクが台頭する中で推移いたしました。

わが国経済は、企業収益はじめ各種経済指標において改善が見られ、緩やかな回復基調が続いておりますが、上記の世界経済の動きによって受ける影響や自然災害などによる経済への影響への懸念もある中で推移いたしました。

情報産業につきましては、国内外問わずサーバ仮想化を含むクラウドコンピューティングとそれに伴うITサービスの需要をはじめ、IoT (Internet of Things) やAI (Artificial Intelligence) などの新分野への関心がIT投資を牽引しており、2018年の世界におけるIT支出額は前年比6.2%増の3兆7,000億ドル規模に達する見通しだと言われております。

セキュリティ業界におきましては、欧州で「GDPR (一般データ保護規則)」が施行された一方、引き続き特定の企業や組織を狙う標的型攻撃をはじめ、国家機関などを狙ったサイバー攻撃、企業の顧客情報の漏洩の被害、仮想通貨の流出などが散見されました。また、SNS利用者の個人情報本人の同意を得ずに第三者によって不正利用されていたことが明るみになり、情報を取り扱う側の姿勢をより一層問われる事件なども注目を集めました。今後は身代金要求型不正プログラムであるランサムウェアや仮想通貨に関連した脅威、IoTにおけるデバイスや環境を狙った攻撃、社会的、政治的なサイバー攻撃など、より巧妙な攻撃が増加するとみられています。

このような環境下、当社グループの経営状況は、以下のようなものであります。

日本地域につきましては、個人向けビジネスはユーザ数が昨年と同水準を維持し微増となりました。企業向けビジネスはUTM (統合脅威管理) 製品を含む従来型セキュリティが好調だった他、クラウド関連製品も伸長しました。その結果、同地域の売上高は46,605百万円(前年同期比7.2%増)と増収となりました。

北米地域につきましては、個人向けビジネスがプラス成長に回復しました。一方、企業向けビジネスにおきましては、従前より他地域の顧客も担当していたTippingPoint関連ビジネスが当期より同地域の顧客のみとなったことによるマイナス影響があったものの、クラウド関連製品を中心に堅調に推移しました。その結果、同地域の売上高は円高の影響があったものの30,930百万円(前年同期比2.9%増)と増収となりました。

欧州地域につきましてはクラウド関連ビジネスはじめTippingPointの貢献も含むネットワークセキュリティ関連ビジネスが伸長しました。更に円安の影響もあり、その結果、同地域の売上高は20,764百万円(前年同期比19.8%増)と増収となりました。

アジア・パシフィック地域につきましては、オーストラリアが牽引した他、中東、大幅な伸長を見せた東南アジアも同地域の売上を牽引いたしました。特にクラウド関連ビジネス、並びにTippingPointの効果もありネットワークセキュリティ関連ビジネスが好調でした。その結果、同地域の売上高は16,561百万円(前年同期比20.5%増)と5つの地域セグメントの中で最大の増収率となりました。

中南米地域につきましては、企業向けビジネスにおきましてクラウド関連ビジネス並びに従来型セキュリティが同地

域を牽引しました。ブラジルがふるわず、加えて円高の影響もあり、その結果、同地域の売上高は3,114百万円(前年同期比2.3%減)と減収となりました。

その結果、当社グループ全体の当第3四半期連結累計期間における売上高は117,976百万円(前年同期比9.5%増)となりました。

一方費用につきましては、主に人員増による人件費増加のほか、ネットワークセキュリティ関連売上が増加したことによるハードウェアコストやパブリッククラウドの利用料が増加したこと等により、売上原価および、販売費及び一般管理費の合計費用は90,749百万円(前年同期比13.6%増)となり、売上高は増加したものの費用の増加を吸収できませんでした。その結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は27,226百万円(前年同期比2.5%減)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の経常利益は為替差損が減少したこと等により、27,739百万円(前年同期比1.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は21,010百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び預金の残高は107,754百万円となり、前連結会計年度末に比べ21,856百万円増加いたしました。また、有価証券並びに売掛金が減少したものの、現金及び投資有価証券は増加したこと等により、当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ5,493百万円増加の336,650百万円となりました。

一方、当第3四半期連結会計期間末の負債は未払法人税等が減少したものの、長期繰延収益が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ1百万円増加の154,081百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、ストック・オプションの行使による自己株式の減少等により、前連結会計年度末に比べ5,491百万円増加の182,569百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成30年2月15日に公表した通期業績予想の変更はございません。

平成30年12月期通期業績見通し(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

連結売上高	164,800百万円
連結営業利益	40,700百万円
連結経常利益	40,800百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	28,400百万円

上記業績予想値の策定にあたって、想定しております為替レートの主要なものは下記の通りであります。

1米ドル	111円
1ユーロ	132円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,897	107,754
受取手形及び売掛金	40,065	32,814
有価証券	66,535	50,880
たな卸資産	2,980	3,495
繰延税金資産	15,810	16,029
その他	5,788	7,443
貸倒引当金	△286	△275
流動資産合計	216,792	218,142
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	4,278	4,213
その他（純額）	3,944	4,334
有形固定資産合計	8,222	8,548
無形固定資産		
ソフトウェア	11,482	11,072
のれん	14,978	11,492
その他	13,834	14,397
無形固定資産合計	40,294	36,961
投資その他の資産		
投資有価証券	49,788	56,409
関係会社株式	2,605	3,067
繰延税金資産	11,863	12,140
その他	1,590	1,381
投資その他の資産合計	65,847	72,998
固定資産合計	114,365	118,508
資産合計	331,157	336,650

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	730	724
未払金	4,635	5,191
未払費用	5,636	5,551
未払法人税等	3,509	1,660
賞与引当金	2,312	1,965
返品調整引当金	795	1,093
短期繰延収益	83,534	83,667
その他	7,610	5,655
流動負債合計	108,764	105,509
固定負債		
長期繰延収益	38,450	40,435
退職給付に係る負債	4,906	5,122
その他	1,957	3,013
固定負債合計	45,315	48,571
負債合計	154,079	154,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,386	18,386
資本剰余金	23,162	24,506
利益剰余金	140,794	141,298
自己株式	△8,717	△2,765
株主資本合計	173,626	181,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	△35
為替換算調整勘定	2,263	891
退職給付に係る調整累計額	△519	△469
その他の包括利益累計額合計	1,782	386
新株予約権	1,662	749
非支配株主持分	6	6
純資産合計	177,077	182,569
負債純資産合計	331,157	336,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	107,782	117,976
売上原価	20,017	23,252
売上総利益	87,765	94,724
販売費及び一般管理費	59,835	67,497
営業利益	27,929	27,226
営業外収益		
受取利息	837	1,060
有価証券売却益	72	—
持分法による投資利益	413	8
デリバティブ評価益	143	43
その他	266	115
営業外収益合計	1,733	1,227
営業外費用		
支払利息	3	1
為替差損	1,348	191
有価証券売却損	44	173
固定資産除却損	45	296
その他	76	50
営業外費用合計	1,518	713
経常利益	28,145	27,739
税金等調整前四半期純利益	28,145	27,739
法人税等	7,628	6,728
四半期純利益	20,516	21,011
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,515	21,010

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	20,516	21,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	251	△73
為替換算調整勘定	1,050	△1,826
退職給付に係る調整額	101	50
持分法適用会社に対する持分相当額	△101	453
その他の包括利益合計	1,301	△1,395
四半期包括利益	21,818	19,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,817	19,615
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	28,145	27,739
減価償却費	6,772	8,666
株式報酬費用	424	370
のれん償却額	3,216	3,303
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	△6
返品調整引当金の増減額(△は減少)	486	299
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	186	261
受取利息	△837	△1,060
支払利息	3	1
持分法による投資損益(△は益)	△413	△8
固定資産除却損	45	296
有価証券売却損益(△は益)	△28	173
デリバティブ評価損益(△は益)	△143	△43
売上債権の増減額(△は増加)	3,809	6,919
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,087	△502
仕入債務の増減額(△は減少)	△3	2
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△1,011	△323
繰延収益の増減額(△は減少)	4,826	2,806
自社株連動型報酬(△は減少)	570	△34
その他	△3,725	△3,364
小計	41,222	45,496
利息及び配当金の受取額	1,157	1,191
利息の支払額	△3	△1
法人税等の支払額	△9,175	△8,939
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,201	37,747
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△3,176	△3,469
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△30,939	△28,107
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	25,930	41,221
有形固定資産の取得による支出	△3,367	△2,422
無形固定資産の取得による支出	△5,937	△6,839
その他	9	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,481	382
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	1,214	6,013
配当金の支払額	△18,679	△19,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,465	△13,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	△102	△2,106
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,847	22,249
現金及び現金同等物の期首残高	102,375	98,440
現金及び現金同等物の四半期末残高	100,527	120,689

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	中南米	計	調整額 (注)3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)4
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	43,459	30,065	17,330	13,738	3,188	107,782	—	107,782
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	109	3,569	4,359	16,657	138	24,834	△24,834	—
計	43,569	33,635	21,689	30,395	3,327	132,617	△24,834	107,782
セグメント利益	13,937	5,355	4,432	2,999	1,121	27,846	83	27,929

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国・カナダ

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・韓国・オーストラリア・中国・フィリピン・シンガポール・
マレーシア・タイ・インド・UAE・エジプト

中南米 … ブラジル・メキシコ

3 セグメント利益の調整額83百万円は、その全額がセグメント間取引の金額であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	欧州	アジア・ パシフィック	中南米	計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	46,605	30,930	20,764	16,561	3,114	117,976	—	117,976
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	65	6,315	3,045	17,442	14	26,884	△26,884	—
計	46,671	37,246	23,810	34,004	3,129	144,861	△26,884	117,976
セグメント利益	13,876	6,055	3,780	2,899	540	27,153	73	27,226

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国・カナダ

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・韓国・オーストラリア・中国・フィリピン・シンガポール・
マレーシア・タイ・インド・UAE・エジプト

中南米 … ブラジル・メキシコ

3 セグメント利益の調整額73百万円は、その全額がセグメント間取引の金額であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。